

NAKAMOZU イノベーションコア 創出コンソーシアム レポート

2023年12月
第12号

NAKAMOZU イノベーションコア創出コンソーシアム
(NICCC) 事務局

主なコンテンツ

1. 先進事例見学会の概要
2. Fukuoka Growth Next (福岡市中央区)
3. いと Lab+ (福岡市西区)

NAKAMOZU イノベーションコア 創出コンソーシアム 会員

- ・公立大学法人大阪 大阪公立大学
- ・堺商工会議所
- ・公益財団法人堺市産業振興センター
- ・株式会社さかい新事業創造センター
- ・株式会社池田泉州銀行
- ・株式会社エスポワール
- ・大阪ガス株式会社
- ・大阪市高速電気軌道株式会社
- ・大阪信用金庫
- ・関西電力株式会社
- ・株式会社スマートバリュー
- ・大和ハウス工業株式会社 堺支社
- ・大和リース株式会社
- ・西日本電信電話株式会社 関西支店
- ・株式会社ガバメイ
- ・株式会社セントラルホーム
- ・堺市

支援・協力機関

- ・株式会社日本政策金融公庫

令和5年11月15日

先進事例見学会を開催しました！

1. 先進事例見学会の概要

- ・ NICCC 会員の機運醸成のため、11月15日に Fukuoka Growth Next (福岡市中央区) と、いと Lab+ (福岡市西区) の2施設の見学を行いました。
- ・ 当日は専門理事の大阪公立大学 嘉名教授をはじめ、7社の民間会員様にご参加いただきました。
- ・ 見学会は下記のスケジュールで実施しました。

<先進事例見学会の行程>

時刻	内容
11:00~12:00	Fukuoka Growth Next 視察及び周辺散策
移動	
14:00~16:00	いと Lab+ 視察 視察後集合写真撮影、嘉名教授挨拶
16:10頃	解散

<各施設概要>



Fukuoka Growth Next

旧大名小学校校舎を活用した福岡市のスタートアップ支援施設。小学校跡地を含めた再開発事業として実施された。



いと Lab+

九大新町研究開発次世代拠点として、研究開発棟をはじめとする複合機能を備え、九州大学と連携した研究開発拠点の形成を進めている施設。

NAKAMOZU イノベーションコア 創出コンソーシアム

2. Fukuoka Growth Next (FGN)

FGN では、前日に福岡市からヒアリングした内容を踏まえ、事務局から施設説明及び案内を行いました。また、同敷地内において旧大名小学校跡地活用事業として再開発された周辺施設等についても見学しました。

歴史ある小学校をリノベーションしたスタートアップ支援施設は、小学生の頃の懐かしさを感じながら仕事を楽しめる空間も創り出しているようでした。

- 施設内には福岡市からの委託によりカルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)が運営するスタートアップカフェと、福岡地所・SAKURA internet・GMOペパボ・福岡市で運営している FGN が整備されており、若い起業家たちが思い思いの空間や環境でお仕事をされていました。
- スタートアップカフェでは、起業支援だけでなく、人材マッチング、海外スタートアップビザ取得支援などもおこなっており、すべて無料。OPEN は土日関係なく 10 時～22 時までと手厚い支援をされているとのことでした。
- 施設内には他にもコーヒーショップや Bar も併設しており、入居企業の交流スペースにもなっているそうです。
- 本事業は福岡市が進める再開発事業「天神ビッグバン」の 1 つのエリアで、本エリアではリッツカールトンをはじめ、オフィスやレジデンスなどが民間事業者により一体整備され、また災害時の避難所やイベントや地域の運動会にも使用されることを目的に、中央には人工芝の広場が整備されており、見学時にもさまざまな世代の方々が広場を利用されていました。

3. いと Lab+ (九大新町研究開発次世代拠点)

いと Lab+ では、施設担当者と福岡市担当者から本施設の概要等についてご説明いただき、施設内を見学させていただきました。

- 敷地内には研究開発棟や居住棟（538 世帯の賃貸マンション）をはじめとし、西日本最大級の蔦屋書店やインテリア販売の LOWYA が outlet されており、各店舗では多くのイベントを実施するなど、学生や周辺住民を呼び込む取組を実施されているとのことでした。
- 本施設は、周辺の産学連携交流センター、九州大学と連携し、一体で次世代の研究開発拠点の形成を目的としたまちづくりのための施設の 1 つとのことでした。
- 研究開発棟に入居されている方は、産学連携交流センターから移って来られた方が多く、事業拠点を換えることで循環を生み出し、元岡地区の盛り上げに繋がればと考えているそうです。
- 九州大学との連携では、施設内の研究開発棟には同大学の産学連携部門が、居住棟には多くの学生が入居していたり、本施設を大学のイベント会場として使用するなど、様々な連携に取組まれていました。
- 実証実験にも取り組まれており、今後の取り組みの一つとして新モビリティ（スクーター）を利用して大学まで行けるような実証実験を実施する予定とのことでした。



【NICCC 事務局】

堺市 建築都市局 都市整備部
中百舌鳥・拠点整備担当
〒590-0078
堺市堺区南瓦町 3 番 1 号 15 階
TEL:072-340-0389
FAX:072-228-7897



Facebook QRコード



【なかもずエリアロゴ】

なかもずの頭文字の「n」と鳥の「百舌鳥」のくちばしの形状をモチーフにしたパーツが、複数のエリアや産学官を表現し、中央で交差するデザインはコラボレーションやコアを想起させます。風をおこすファン（扇）をイメージさせる形状は、新たな風を起こすイノベーションも表現しています。